

鈴鹿サーキットに NIPPONコーナー

命名権を取得

NIPPONは、F1や世界耐久選手権（EWC）など最高峰のレースを開催している鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）を運営するホンダモビリティランドとコーナー名称のネーミングライツ契約を締結した。

契約後初のレース「SUPER GT第3戦」が3～4日に開催され「NIPPON



POコーナー」として披露された。写真（ホンダモビリティランド提供）。

NIPPONは1962年に開設された鈴鹿サーキットの施工を担当。その後もモビリティリゾートもてぎ（栃木県茂木町）や富士スピードウェイ（静岡県小山町）など、F1やMotogpなど世界選手権を開催する国際レーシングコースの建設を手掛けている。



提供：ホンダモビリティランド

鈴鹿サーキットの コーナーを命名

NIPPO

NIPPOは、F1や2輪の世界耐久選手権（EWC）などのレースを開催している鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）を運営するホンダモビリティランドと、コーナー名称のネーミングライツ（命名権）

契約を結んだ。

契約後初のレースとなるSUPER GT第3戦が3日から4日にかけて開催され、「NIPPOコーナー」として披露された。写真。

同社は、1962年に開設された鈴鹿サーキットの施工を手掛け、以後もモビリティリゾートもてぎ、富士スピードウェイなど、F1やMotogpなどといった世界選手権を開催する国際レーシングコースの建設を行っている。